

自分に質問してみよう

名前

◎ めあて

人に質問するときの仕方を理解して、質問名人になろう。

☆ 質問には、すぐに答えられる質問と、考えないと答えられない質問の二つの種類があります。

<p>すぐに答えられる質問の例</p> <ul style="list-style-type: none"><li>好きな食べ物はなんですか。</li></ul>	<p>考えないと答えられない質問の例</p> <ul style="list-style-type: none"><li>どうして、その食べ物が好きなのですか。</li></ul>
---	--

☆ 人に質問するときには、まず、すぐに答えられる質問をいくつかしましょう。そうすると、会話が盛り上がりやすくなります。その後、考えないと答えられない質問をすると、会話の内容が深まります。

☆ 表のあいだにいるところに、自分が考えた質問を書いてみましょう。たくさん書いたら、質問名人の仲間入りです。

自分に質問してみよう

名前

◎ めあて

質問に答えるかたちで、自分のことを話しましょう。

☆ 教科書の8、9ページを開いて、読みましょう。

☆ 質問を考えて、カードに書きましょう。


すぐに答えられる質問と、すぐには答えられない質問の両方を考えてみよう。



☆ カードに書かれた質問について、答えてみましょう。

風景 純銀もぎいく

名前

◎めあて

「風景 純銀もぎいく」を読み味わいましょう。

☆ 教科書の10ページを開いて、「風景 純銀もぎいく」を二回音読しましょう。

☆ 詩でよく使われる表現技法には、反復（くりかえし）、倒置（言葉の順序を逆にする）、比喩（たとえ）、擬人法（人のように表現する）、対句法（対照的な二つの言葉を並べる）、体言止め（文の終わりを名詞で止める）があります。

☆ この詩には、どのような表現技法が使われていますか。その効果も考えて、表にまとめてみましょう。

表現技法	効果

☆ 詩を音読すれば、音の響きやリズムを楽しむことができます。表現技法に注目すれば、詩の世界を楽しむことができます。

あの坂をのぼれば

名前

◎ めあて

「あの坂をのぼれば」を読んで、感想や疑問に思ったことを書きましよう。

☆ 教科書の13ページを開いて、「あの坂をのぼれば」を二回読みましよう。

一回目は、てんまる読み（句読点（、や。）で区切って読む方法）で、二回目は、場面の様子を想像しながら読みましよう。

☆ 読んだ後に、感想や疑問を書きましよう。

--	--	--	--	--	--

あの坂をのぼれば

名前

◎めあて

登場人物の心情の変化について考えましょう。

☆「あの坂をのぼれば」に登場する少年の心情の変化について、次の空らんに入言葉を記入して、まとめてみましょう。

はじめの心情

途中の心情

出来事

最後の心情



あの坂をのぼれば

名前

◎ めあて

「あの坂をのぼれば」のあらすじをつくりましょう。

☆ 「あの坂をのぼれば」のさし絵を見ながら、どんな場面か、説明しましょう。

☆ 説明できるようになったら、説明したことを書いてみましょう。

--	--	--	--	--	--

☆ あらすじをつくと、物語の内容をかん単に紹介することができます。いろいろな物語のあらすじづくりにチャレンジしてみましょう。